

札幌地域での事業着手に向けた事業展開計画作成の経過

- 平成 22 年 6 月 10 日 札幌地域から、イオル再生事業に関する構想提出
平成 23 年度に向けて、構想の提出がなされたが、イオル再生事業として目指す姿、具体的内容や事業規模、事業の展開に関する計画の熟度が不十分であり、地域との間で協議が整わなかったことから、必要な予算要望を見送った。
- 平成 23 年 5 月 27 日 札幌地域から、構想の再提案
再提出された計画案に関して、先行実施地域との関係や事業の実施内容、アイヌ文化振興・研究推進機構が支援すべきものの範囲・規模、若手の一層の参画のあり方等について、アイヌ文化振興・研究推進機構と地域との間で、検討・調整を実施。
- 平成 23 年 9 月 8 日 アイヌ文化振興・研究推進機構において、第三者意見を聴取
[主な意見]
 - ・事業に若手を参画させ、経験を積ませるべきである。
 - ・石狩アイヌの歴史を調査し、伝承していくことが重要である。
 - ・札幌市の事業との棲み分けを図る必要があり、実施体制について、札幌市と北海道アイヌ協会の札幌支部とが十分連携を図り実施していくべきである。
- 平成 23 年 9 月 22 日 アイヌ文化振興・研究推進機構において、「アイヌの伝統的生活空間の再生事業検討会議」を開催
[主な意見]
 - ・各地域に独自のアイヌ文化があるので、札幌地域から発信を行うのであれば、十分に調査した上で、実施して頂くことが必要になる。
 - ・アイヌ語地名が多いのであれば、アイヌ語を併記した看板を作ってはどうか。